



学校だより

おおとり

横浜市立大鳥小学校

令和元年10月3日 発行

10月号

学校教育目標

はばたく子

◆やさしい子 ◆たくましい子 ◆かしこい子

〒231-0806 中区本牧町1-251
学校長 水島 貴志 TEL 621-7700



子どもたちの資質・能力を育てる

校長 水島 貴志

昼間の太陽の日差しには夏の名残を感じますが、朝夕吹く風はめっきり秋を感じさせる季節になってまいりました。子どもたち、そして保護者・地域の皆様におかれましては、夏の疲れや気温の変動で体調を崩されないことを願っております。

巷は、横浜を中心に開催されているラグビーW杯で盛り上がっているところです。今回のラグビーW杯といい、来年の東京オリンピック・パラリンピックといい、身近なところで世界中が注目する大会が行われると、まち全体が盛り上がり、元気になる気がします。何十年後かの大鳥小の卒業生たちも、子ども時分にこうした大会で盛り上がったことを思い出すことがあるのではないのでしょうか。また、まだ予選リーグではありますが、日本代表の大活躍も盛り上がりの大きな要因となっています。前回から引き続きの大躍進の様子を見ると、ラグビー日本代表の力が確実に向上していることが感じられます。このまま快進撃を続け、悲願の決勝トーナメント進出、そしてさらにその上を目指して行ってほしいと思います。

さて、「力をつける」と言えば、各学校では学校教育目標の具現化を目指して、来年度に控えた新学習指導要領の全面実施に向け、教育課程編成に頭を悩ませているところです。新しい教科書を使った学習指導とその評価、高学年の外国語科の実施、それに伴う授業時数の増加等、考えていかなければならない課題は山積していますが、その一番の根本、大事なところは「子どもたちの力」＝「大きく変化しつつある未来社会を切り拓いていくための資質・能力」を育てることにあります。実は、この概念はこれまでの教育の中にもなかったわけではなく、本校でも大事にしてきた考え方であり、今後はより明確に意識し、意図的に行っていく必要がある、ということになります。



今年度も、国語科の授業研究を通して子どもたちの力を伸ばしていけるように取り組んでいます。

例えば、各学年の宿泊体験学習。7月の6年生の子浦に引き続き、9月11、12日に4年生が愛川に行ってきました。事前の説明会(授業参観)では、子どもたちが司会・進行しながら、自分たちが調べたことを発表していました。教師が進めればもっとスムーズにわかりやすく説明できたでしょうが、子どもたちが戸惑いながらも自分たちの力で進めることで、子どもたちの大事な資質・能力を育てたいと意図していたわけです。

(次ページへ)

(前頁より)

直前の台風の通過で山登りができなくなり、1日目の行程が大幅に変更となりました。その点は安全に関わるので教職員側で決めさせていただきましたが、マイタイムを含めてその他の活動については、ほとんど子どもたちが考えた活動(もちろん、教師の支援の下)です。やり終えた時の子どもたちの達成感は相当なものだったでしょうし、出てきた課題は今後の学校生活に、そして来年の体験学習に積極的に生かしていこうという気持ちになったと思います。現在は、同じように5年生が赤城宿泊体験学習に向けて準備を進めています。4年生の時の経験、そして培った資質・能力を生かして、さらに密度の濃い3日間を過ごしてくるのではないかと期待しています。

本校は、十数年にわたって国語科の研究を続けており、校内の他の教員の授業を見合ったり、国語に造詣の深い先生方の指導を受けたりしております。11月1日には、「豊かなかわり合いの中で、考えを広げ、深め、生き生きと伝え合う子の育成」をめざして、公開授業研究会を開いて他校の先生方にも見ていただき、勉強させていただきます。今の時代、学習は一人でできるものではありません。もちろん、一人でじっくり考える時間も必要ですが、その考えたことを伝え合うことで、考えがより深まり、確実なものになっていくのだと思います。教師が教えるだけでは「学び」は深まらない、単なる知識は身につくかもしれないけれど「生きてはたらく知」にはならない。ここでもやはり、子どもたちの未来へとつながる資質・能力をいかに育てていくか、ということを考えていきたいと思っております。

例えば、何かの作品を作るとして、人から言われたとおりに作って、見た目が素晴らしい作品を作るか、それとも自分で試行錯誤しながら作って、見た目は大したことないかもしれないが自分の力で作り上げるか。どちらが本当の自分の力、資質・能力の育成につながるでしょうか。私たちは、時間はかかるかもしれませんが、後者を大事にしたいと考えています。もちろん、安心・安全に関わる部分など、即時的な効果が必要とされる場合もあるでしょう。しかしそうでない部分では、子どもたちの育ちを長い目で見ていきたい、と思う今日この頃です。保護者・地域の皆様、今後も変わらず温かい目と心でのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

4年愛川宿泊体験学習

